

ライフラインへの具体的な影響

共用部	名称	大規模震災時の影響	備考
電気	エレベーター	震度4～5以上の地震が発生した場合、最寄り階に停止⇒開扉⇒閉扉⇒停止	災害時はエレベーターは、利用しないこと。万一閉じ込められた場合は、無理に脱出しようとせず、非常ボタン等により、助けを待つ。高層階の居住者は、都度、階段による上り下りが必要となり、下階の居住者より、より備蓄品を備える必要あり。
	機械式駐車場	停電により運転停止	利用可能な場所は、単純昇降式駐車場上段パレット/平置きのみとなります。
	自動ドア	停電により運転停止	停電と共にロックが開錠となり手動開閉に切替わります。
	チェーンゲート	停電により運転停止	ゲートは自重で降下します。
	インターホンシステム	停電により利用不能（共用・専用）	-
	セキュリティシステム	停電により利用不能（共用・専用）	居住者によるパトロール強化
	照明設備	停電により不点灯	非常用照明に切替わるが、バッテリーがなくなり次第、不点灯となる。（30分～60分）
水道	給水ポンプ	停電により運転停止（断水）	・管理室・ゴミ置場の水栓は水道管直結となっております。破損でない限り利用可能。
ガス	マイコン停止	復旧が必要。方法は裏面参照	

専用部	区分	震災時の影響
電気	部屋	（夜間）真暗見ええない。食事できない。
	携帯	充電ができない。充電がないと連絡や情報がとれない。
	テレビ	つかない
	冷蔵庫	中身が腐る。冷凍ものは解ける。
水道	飲み水	水がでないから飲めない
	風呂	水が出るまで入れない
	トイレ	水が出るまで使えない
ガス	コンロ	ガスの場合料理ができない
	風呂	入れない

被害想定

大規模災害でマンションが倒壊することは市も想定していないため、建物への影響は軽微としています。本マニュアルを参考に各戸最低限の準備をお願いいたします。



【参考】過去の災害時インフラ復旧日数（目安）

震度	時期	名称	電気	水道	ガス
7	18/9/6	北海道胆振東部地震	2日	被害なし	3日
	16/4/14	熊本地震	1週間	1週間	2週間
	11/3/11	東日本大震災	1週間	3週間	5週間
6	18/6/18	大阪北部地震	3時間	1日	4日
	16/10/21	鳥取地震	1日	大きな被害なし	大きな被害なし

当マンションの対応基本方針

当マンションでは、地震災害対策の基本的な考え方である【自らの安全を自らで守る「自助」、自治会や近隣で協力して助け合う「共助」、県、市町村、国等が行う「公助」】に則り、災害時の基本的な行動について以下のように定めました。（内容は、今後の訓練等で随時見直します。）

区分	区分2	自助 （各家庭で準備して頂きたいもの）	共助（自治会） 個人だに対し難しいのが目安。	
			全戸への対応（管理人含む）	共用施設（多目的ホール等）
食	飲食物	災害備蓄品の準備は3日以上の食糧、飲料が望ましい	・炊き出しは状況に応じて実施。 ・備蓄については今後協議 ・水は受水槽（75t）にて対応も検討 ⇒水栓工事必要	自動販売機 ※配布は状況に応じて実施。 ルールを今後検討。
住	風呂	-	ゲストルーム（ガス復旧後で、水道が全戸利用できない場合）	
	トイレ	簡易トイレ	管理室横、ゲストルーム	簡易トイレで対応
	電気	懐中電灯 携帯電話バッテリー	原則対応しない	多目的ホール等については、個別に検討

共用施設の役割		内容	備考
多目的ホール	災害対策本部	・情報の収集、発信拠点	避難が必要な方への冷暖房器具稼働のため、発電機、蓄電池の購入を今後検討
ゲストルーム	救護所	・「避難行動要支援者※1」等の避難が必要な方の避難場所	

※1・・・災害時に自ら避難することが困難な方々に対して支援を行うことを目的とした制度

避難施設

- 災害対策地区防災拠点（避難所）  
・今宿小学校 収容人数 1,749人  
避難所とは、ご自宅等で避難ができない方が避難する場所です。建物、部屋が安全な場合は、原則在宅避難となります。
- 2次避難施設  
・アルバック（萩園 2500）  
・アルバックテクノ（萩園 2609-5）  
2次避難施設は、原則として、多数の避難者により公立小・中学校の避難所での収容が困難な場合に、必要に応じ協定等に基づく市からの要請により開設されます。
- 福祉避難施設  
・萩園ケアセンター（萩園 1215-4）  
福祉避難施設は、原則として、避難所での生活が難しく、福祉措置等が必要な避難者の後方支援として、必要に応じ協定等に基づく市からの要請により開設します。
- 津波一時退避場所  
・当マンション、ダイパレス
- 広域避難場所  
・中島中学校、柳島スポーツ公園 等



フロア（地震を想定）

区分	1日目			2日目	3日目
	直後	～10分	落ち着いたら		
住民	行動	①安全確保 ②火災防止	③火災の確認 ④火の元確認	在宅避難の可否 在宅避難 避難所に行く準備	①家族の安否確認 ②自主防災組織への安否報告（していない方） ③ライフラインの被害確認 ※トイレは自主防災組織からの許可が出るまでは使用しないでください。（下階のトイレから汚水が溢れる可能性があるため）
	対処法	①・テーブルに隠れる ・窓やドアを開ける ②火を使っている時は すぐ消す！	③火災発生の場合は 消火器で 初期消火！ ④ ガス元栓を 締める	災害備蓄品持出 ブレーカーを落とす マグネット貼付	同一フロアでの声掛け（助け合い）
自主防災組織			災害対策本部 立ち上げ （多目的ホール）	安否確認実施 昼：管理人 夜：自主防災組織	自治会による支援開始 ・炊き出し（実施は今後検討）

消火器の場所

ご家庭の消火器の場所をや使用期限を記載してください。

災害備蓄品の準備

3日分/1名の食糧例



ガスについて

1 元栓の締め方

開いている場合は、右に回すと閉まります。

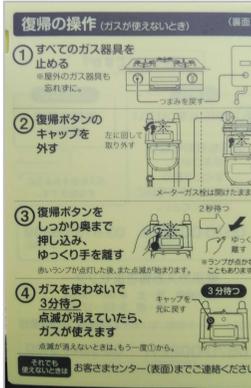


2 ガスの復帰方法

ガスを使用中に感震器が大きな地震（震度5相当以上）を感じると、信号を受けてガスを遮断します。（ただし、ガスを使用していなければ遮断しません）



▼各戸のメーターについて。



安否確認・情報収集

1 安否確認の方法

大規模災害時には、自主防災組織（管理人含む）が全戸を巡回し安否確認を実施するため、自治会より配布される青と赤の**マグネット**を玄関外に張り、**安否をお知らせください。**

マグネットがない場合は、ドアをノックするなど在宅状況を確認し状況によっては関係機関への通報を行います。

● 問題ありません

● 手伝いが必要です。声をかけてください。

2 情報の取得方法

災害時に必要不可欠なのは情報です。災害対策本部で掲示板（ホワイトボード等）による情報発信を行います。EVが使用できないなどが想定されるため、SNSを利用して情報発信を行います。下記アカウントか右記QRコードで登録をお願いします。



リステージ災害専用ツイッター  
@saigai-tsuima



3 災害時の連絡先（管理員携帯電話）

救助、安否、助けが必要な際に利用。